

企業見学シャトル便レポート

訪問日：2022/7/25(月)

参加者：農学部 3 名

編集：地域連携コーディネーター

【見学先企業】

① 八頭中央森林組合

見学テーマ(キーワード)「林業および自然公園等の公園整備計画に関する業種」という希望を受けて、農学部学生 3 名と訪問した。

八頭中央森林組合

【住所】 鳥取県 八頭郡八頭町郡家 763-10

【業種】 森林組合/素材生産事業者/その他製品製造業関連

【企業紹介】

森林管理「分収造林」が主な事業活動。年間素材生産量：46,995 m³(令和 2 年度実績)

- ・「林産事業」利用間伐を主とした伐採・搬出作業
- ・「森林整備事業」新植、下刈り、育成途上の森林の除間伐など
- ・「路網整備事業」木材を低コストで搬出する作業路網の整備

林業専用道 60 路線 44,000m(9 年間)

森林作業道 約 450 路線 300,000m (50 路線 50,000m/年)

- ・「災害復旧事業」災害によって壊れた林業専用道及び森林作業道の復旧
- ・「利用事業」山林の手入れ・庭木の伐採など
- ・「国産材加工場」小径木の加工・販売

杭木、地盤改良杭ほか

- ・「まいたけ事業」

などの事業を展開中です。

八頭中央森林組合



↑ 分収造林の現場にて



↑ オーストラリア製タワーヤーダーでワイヤを張って木材を収集



↑ 材木に適さない枝葉等はバイオマスとしてチップ化して出荷



↑ 組合長室にて林業への熱い思いを拝聴しました

学生からのアンケート結果 回答：3名(県外出身者3名)

(1) 見学して印象に残ったこと、学んだこと

- ・林業は普段自分が関わらない世界の話だったので今回新しい話がたくさん聞けてとても勉強になりました。
- ・うまくいってないところや、改善すべき点を認識し、新しい取り組みに挑戦していたところが印象に残った。特に、獣害に関することは、どの分野でも問題となっていて、人間の領域と野生動物の住む領域をはっきり分ける対策がとられていると学んだ。
- ・林業は国外にも目を向けて取り組む必要があること。

(2) 企業の良かった点、気になった点

- ・熱く話をしてくださったのでとても話が気持ちよく聞けました。
- ・実際に現場を見せていただいた。現場を直接見れたのはとても良い経験になった。
- ・森林を維持管理するだけでなく、課題に対して積極的に取り組まれている点。

以上